

研究課題名； 学生健診における感染症アンケートの検討に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年4月1日～2024年3月31日までに名古屋大学に入学した全学部学生

2. 研究目的・方法・研究期間

近年、大学キャンパス内での麻疹や風疹などの集団感染が問題になっています。日本の麻疹は「排除状態」の認定をWHOから受けていますが、渡航歴のある患者やその接触者からの麻疹の感染拡大に注意が必要となっています。一般に、成人の感染症は小児に比し、より重症化しやすく、合併症を引き起こしやすいと報告されています。大学の学生に対する責任および社会に対する責任として、これら感染症の蔓延を阻止することが重要であり、必要不可欠なことです。感染症ウイルスの感受性を把握することは、学内での感染症の発生時に、休講等の措置を含めて、蔓延を阻止する対策をとるために非常に重要なことです。本学では、2010年から各種感染症についてのアンケート調査を行っています。学生数の多い大学において新入生全員に抗体検査を行うことは非常に困難であるため、入学前に感染症の既往歴およびワクチン接種歴についてのアンケートは重要であると思われます。本学の感染症アンケート調査を解析することによって、学生の各種抗体保有率を推測し、ワクチン接種の勧奨の重要性を明らかにすることを目的としています。また、医学部学生は入学時に各自病院で各抗体価を測定し、大学にこのデータを提出していますが、これを用いてアンケート調査の確かさを検討することを目的とします。

研究組織：名古屋大学総合保健体育科学センター（保健管理室） 山本明子（研究責任者）、石黒 洋、小池晃彦

3. 研究に用いる試料・情報の種類

感染症（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、日本脳炎、結核等）の既往歴およびワクチン接種歴、性別

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて学生さんもしくは学生さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。（但し、同意を撤回したときすでに研究成果が学会発表や論

文出版後などで公表されていた場合や、データ等が連結不可能匿名化されて個人が特定できない場合などには、廃棄できないことがあります。) その場合でも学生さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 保健管理室

TEL/FAX 052-789-3970/789-5242

名古屋大学総合保健体育科学センター（保健管理室） 山本明子

研究責任者：上記で研究責任者